

Bj

# ビジネス情報

メールでの情報提供は [bj@e-chusen.com](mailto:bj@e-chusen.com)

Bj [twitter](#) での情報提供はアカウント名:@twi\_bj



いしおか医院  
ISHIOKA

●内科●胃腸内科●放射線科

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)  
下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)

福山市大門町3丁目19-14

Tel (084) 946-5100

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/shioka/>

平日は夜8:00まで診療  
土・日・祝日も診療

デンタルクリニック西脇  
松永インプラントセンター併設  
福山市松永町4-15-84 ☎084-930-6480  
<http://www14.ocn.ne.jp/nisiwaki/>

July 2011

7|1

iphone/ipad/Android対応  
電子ブックでもご覧頂けます!

ook 中国ビジネス情報 検索

まごころの仕出し  
**伊吕波**

福山市南本庄3-8-12

☎(084) 927-0168(代)

YOSHITECH

「SE構法」の展開に注力

〈中島建設〉

美星町のレジャー施設が人気

〈セイビの「星空感」〉

[企業NOW] 中國開發

この人に聞く

ひとみ眼科 院長 奥田 芳昭さん

[巻頭特集]

# 動き出した福山市立大

地域密着で運営、人材供給にも期待集まる

あの日、あの時、あのニュース。  
残しておきたい記事を、  
ジャーナルプレートに。

掲載記事があればいいです。  
私に連絡ください。  
担当:平田・中山  
TEL 084-953-8800  
UNIVERSAL

JOURNAL PLATE  
Email:[jurnalplate@kakiharameban.co.jp](mailto:jurnalplate@kakiharameban.co.jp)

幸の鳥 レディス クリニック  
日曜も 診察しています

●診療内容  
不妊治療・子宮ガン検診  
更年期外来・月经不順・月经痛  
流産手術・習慣流産・ビル沁方  
子宮頸ガン予防ワクチン

●診療時間  
通常 9:00~12:00  
16:00~18:00  
日曜 9:00~12:00

●休診日 木曜・祝日・日曜午後

TEL 084-940-1717  
イーブイ  
福山市春日町1-7-14(イズミ鹿王店北100m)  
幸の鳥レディスクリニック 福山

介護用品専門  
はるかど  
0120-23-0772

TVやブログで話題の  
熊本ラーメン大門  
福山上陸中!

詳しくは中面  
“びんまる”をご覧下さい!





GEN方式リキッドフィードシステム



本社

## 会社概要

- 社名 (株)中國開發
- 代表者 池田博道社長
- 所在地 〒729-3401  
府中市上下町小塚659  
TEL(0847)62・4584
- 設立 1982年8月
- 事業内容 土木工事業、中間処分業、収集運搬業、建設発生土リサイクル
- 資本金 4000万円
- 従業員数 33人
- 出先 神石エコファーム(神石支店)、備北営業所
- ホームページ <http://www.chugoku-kaihatsu.co.jp>

は飼料として販売する。「当初の稼働率は二〇%だが、豚の頭数増加に合わせて7月上旬には四〇一五〇%になる。安定食材(残さ)は確保しており、早期に一〇〇%まで上げたい」

木材チップも活用され、发酵が進むと良質な肥料

になる」

同ファームでのリキッド製造では、原料の食品残さを広島県東部や岡山県西部の契約先から低料金で回収。その一方、地産地消を目指して神石高原町内のトマトくずやくず米、飼料米、第三セクターから出る食品残さも積極的に利用する。「ほとんどの食品、農産物が使えるのではない

か」。集まつた材料のみで栄養のバランスを取りにくい場合、配合飼料なども投入して整える。

リキッドは良質な飼料として認められており、肉質の向上も実証されている。「輸入飼料と比較して低コスト。将来的な穀物不足による調達困難や値上がりリスクも少ない」と利点を強調する。

同ファームでは今後豚舎の

## 木材チップも活用

は飼料として販売する。「当初の稼働率は二〇%だが、豚の頭数増加に合わせて7月上旬には四〇一五〇%になる。安定食材(残さ)は確保しており、早期に一〇〇%まで上げたい」

になる」



神石エコファームで伸び伸び育つ子豚

同社がかかる林地残材や食品残さ、肥料などの資源化が、神石高原町が策定した「バイオマスタウン構想」の主要部分を占めるなど、行政も後押しする。「GEN方式リキッドフィードシステム」の導入には、広島県の補助も受けている。

土建業を振り出しに産廃、リサイクルと常に新しい事業を加えてきた同社だが、所有する多くの建設機械が各事業を支える。「アタツチメント(アーム)を交換すれば、ノウハウはだいたい同じ」。だが、「時代の先を行き過ぎている人は失敗している」とあくまでも慎重だ。先行事例を参考しながら、堅実な事業展開で歩みを進めている。

## 発酵液状飼料と養豚核に神石で究極のリサイクル

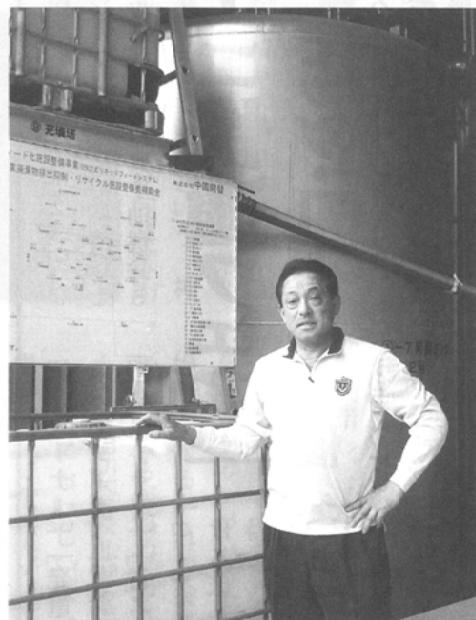


自走式木材破碎機

6月15・16日には、待望の子豚一四〇匹が同ファームに到着した。「品種は『三元豚』。リキッドのみを与えて肥育し、秋には初出荷できる。『神石高原パーク』の名称でブランド化を目指すことになつている」

同システムとの出会いは一昨秋。畜産業者の紹介で、同システムを導入した鹿児島県

食品残さから発酵液状飼料(以下リキッド)を生産する、(株)源麹研究所(鹿児島県)の「GEN方式リキッドフィードシステム」を導入。6月から神石郡神石高原町井関の「神石エコファーム」で養豚業に進出する一方、豚のふん便を木材チップと混ぜて発酵させた良質な有機肥料や豚肉を町内でも販売し、地産地消を絡めた「究極のリサイクルシステム」を構築する。



(株)中國開發 池田博道 社長

内の中華や牛舎を見学する機会を得た。「リキッドを与える所では(ふん便のにおいに集まつてくる)ハエがないと気付いた」。くさい、汚いというイメージが覆され、自社でも手掛けたいと思うようになった。

神石エコファームの用地(約一万八〇〇〇平方メートル)として一昨年12月、養鶏場の跡地を取得した。「関係者に呼び出され、鶏舎解体の仕事でもらえるかと思つたら『買つてくれないか』と。ひょんなことから、養豚のための土地が入手できた」

リキッドは、食品残さに水と黒麹菌を加え発酵させて製造する。黒麹菌は主に焼酎や泡盛の醸造に用いられるが、リキッドの製造過程ではアルコール発酵は行われず、発酵で消化吸収しやすい餌に変化する。さらに発酵で生成されるクエン酸の酸性状態が、ほかの雑菌の増殖を防ぐといふ。

同ファームに設置したプラントの製造能力は、一日当たり最大一六トン。出来上がったリキッドは二基(各二二・三収容)のタンクに貯蔵され、パイプラインを通じて敷地内の豚舎に送られるほか、余剰分

企  
業  
Now

# 発酵液状飼料と養豚核に 神石で究極のリサイクル



自走式木材破碎機

食品残さから発酵液状飼料（以下リキッド）を生産する、（株）源麴研究所（鹿児島県）の「GEN方式リキッドファイードシステム」を導入。6月から神石郡神石高原町井関の「神石エコファーム」で養豚業に進出する一方、同社の関西・中国地区代理店としてリキッドや同システムの販売も行う。食品残さはなるべく同町内で調達する一方、豚のふん便を木材チップと混ぜて発酵させた良質な有機肥料や豚肉を町内でも販売し、地産地消を絡めた究極のリサイクルシステム、を構築する。

6月15・16日には、待望の子豚一四〇匹が同ファームに到着した。「品種は『三元豚』。リキッドのみを与えて肥育し、秋には初出荷できる。『神石高原ポーク』の名称でブランド化を目指すことになつている」と、同システムを導入した鹿児島県



株中國開発  
池田博道 社長

内の豚舎や牛舎を見学する機会を得た。「リキッドを与える所では（ふん便の）おいに集まつてくる）ハエがない」と気付いた。くさい、汚いというイメージが覆され、自社でも手掛けたいと思うようになった。

神石エコファームの用地（約一万八〇〇〇平方㍍）として一昨年12月、養鶏場の跡地を取得した。「関係者に呼び出され、鶏舎解体の仕事でももらえるかと思つたら『買つてくれないか』と。ひょんなことから、養豚のための土地が入手できた」

リキッドは、食品残さに水と黒麹菌を加え発酵させて製造する。黒麹菌は主に焼酎や泡盛の醸造に用いられるが、リキッドの製造過程ではアルコール発酵は行われず、発酵で消化吸収しやすい餌に変化する。さらに発酵で生成されるクエン酸の酸性状態が、ほかの雑菌の増殖を防ぐという。同ファームに設置したプラントの製造能力は、一日当たり最大一六㌧。出来上がったリキッドは二基（各二二㌧収容）のタンクに貯蔵され、パイプラインを通じて敷地内の豚舎に送られるほか、余剰分



GEN方式リキッドフィードシステム



本社

## 会社概要

- 社名 (株)中國開発
- 代表者 池田博道社長
- 所在地〒729-3401  
府中市上下町小塚659  
TEL(0847)62-4584
- 設立 1982年8月
- 事業内容 土木工事業、中間処分業、収集運搬業、建設発生土リサイクル
- 資本金 4000万円
- 従業員数 33人
- 出先 神石エコファーム(神石支店)、備北営業所
- ホームページ <http://www.chugoku-kaihatsu.co.jp>

は飼料として販売する。「当初の稼働率は二〇%だが、豚の頭数増加に合わせて7月上旬には四〇一五〇%になる。安定食材(残さ)は確保しており、早期に一〇〇%まで上げたい」

木材チップも活用

同システムと有機的に組み合わせられるのが、中國開発の木材チップリサイクル。間伐材や林地残材、河川の流木などを自走式木材破碎機を使って細かいチップに破碎し、EM菌を加えた物を牛舎や豚舎、鶏舎の床に敷き詰める用途で販売している。「豚舎であれば、初めに敷き詰めるのは厚さ一メートル。ふん尿は発酵熱で乾き、衛生的。チップと混ざり発酵が進むと良質な肥料

になる」

同ファームでのリキッド製造では、原料の食品残さを広島県東部や岡山県西部の契約先から低料金で回収。その一方、地産地消を目指して神石高原町内のトマトくずやくず米、飼料米、第三セクターから出る食品残さも積極的に利用する。「ほとんどの食品、農産物が使えるのではない。集まつた材料のみで栄養のバランスを取りにくい場合は、配合飼料なども投入して整える。

リキッドは良質な飼料として認められており、肉質の向上も実証されている。「輸入飼料と比較して低コスト。将来的な穀物不足による調達困難や値上がりリスクも少ない」と利点を強調する。

同ファームでは今後豚舎の

増設を行い、早い段階で約一〇〇〇頭の飼育態勢を整える。さらに最大二〇〇〇頭を目標に規模拡大を図り、生産コストの低減を目指す。「一年目は一六八〇頭、二年目は三三六〇頭の出荷を目指としている」



神石エコファームで伸び伸び育つ子豚

同社がかかわる林地残材や食品残さ、肥料などの資源化が、神石高原町が策定した「バイオマススタウン構想」の主要部分を占めるなど、行政も後押しする。「GEN方式リキッドフィードシステム」の導入には、広島県の補助も受けている。

土建業を振り出しに産廃、リサイクルと常に新しい事業を加えてきた同社だが、所有する多くの建設機械が各事業を支える。「アタツチメント(アーム)を交換すれば、ノウハウはだいたい同じ」。だが「時代の先を行き過ぎている人は失敗している」とあくまでも慎重だ。先行事例を参考しながら、堅実な事業展開で歩みを進めている。